

# 教師ノート

日付	2018年11月25日
単元	捕囚と帰還
テーマ	神様はへりくだって助けを求める者の祈りに応えてくださる
タイトル	お祈りの力ってすごい
テキスト	ネヘミヤ 1章、2章、4章～6章 16節
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) 詩篇 50:15 or ヘブル 4:16
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

## □導入

キミは神さまにお祈りして応えられたことあるかな? 「お祈りなんかしたって何も変わらないよ!」と思うかな。お祈りは天地を造られた何でもできる神さまとお話すること! 今日はネヘミヤさんのお祈りを通してどんなことが起こったか聖書から学ぼう!

神殿が再建されてからすでに 50 年以上経ってもまだエルサレムの街は荒れたままだったんだ。ネヘミヤさんはそのことを悲しんでエルサレムに戻ることを決意したんだよ。

## □ポイント1 ネヘミヤはエルサレムが荒れ果てていることを聞いて神さまに祈りました(1、2章)

ネヘミヤというイスラエル人がいました。ネヘミヤもまた捕囚となった人たちの子孫で今はペルシヤの国に留まってアルタシャスタ王様のそばで仕える大切な仕事をしていました。ある日、ネヘミヤの所に親戚の人やエルサレムに戻った人々がやってきました。「エルサレムにいる皆さんはお元気ですか?」ネヘミヤが聞くとその人たちは悲しい顔をして言いました「エルサレムは今とてもひどい状態です。城壁は崩れたまま、門は焼かれたままです。また、イスラエル人は周りに住む人々にいじめられて、苦しい生活をしています」ネヘミヤはびっくりしました。そして自分の国の人々が苦しんでいることを思っ悲しくなり食事もしないで泣きながら神さまに祈りました「ああ、神さま私達はあなたに罪を犯しました。不信仰を許してください。イスラエルを憐れんでください」ネヘミヤは熱心に祈り続けました。

ある日王様がネヘミヤに尋ねました「お前は どうして そんな悲しそうな顔をしているのだ?」ネヘミヤはエルサレムに帰った自分の国の人々のつらい状況を王様に話しました。「お前に何かしてやれるだろうか?」ネヘミヤは自分にエルサレムに行って町を再建させてくれるように頼みました。王様はその願いを聞き入れてネヘミヤが安全に帰れるように、必要な材料も手に入るようにすべて手配してくれたのです。神さまはネヘミヤの祈りを聞いて下さいました。ネヘミヤはエルサレムに着くと早速城壁を再建するためにひそかに調査を始めました。それは誰にも邪魔されることがないためです。そしてみんなを集めて言いました「神さまがお祈りに応えてわたしを送って下さいました。王様の許可もあります。さあ、城壁の建て直しに取り掛かりよう!」みんなはネヘミヤの声に励まされて早速工事に取り掛かりました。

⑤ (1:6)「罪を犯しました」…ネヘミヤの祈りは罪の告白から始まる。捕囚の現実がイスラエルの神への背信に基づくものであることを認め自分の罪としてネヘミヤは認めている。自分が罪人であることをへりくだって認め神に頼るネヘミヤの祈りこそ信仰の祈りである。ただ願いを述べるのではなく、罪の自覚とへりくだりの元に神に頼って祈るのである。

⑤ (11 節)「献酌官」…王の給仕役。王のそばで仕え仕事上、ネヘミヤは王からの信頼が厚かったことが分かる。また献酌官は宮廷内における影響力も強かったとされている。

## □ポイント2 ネヘミヤは神さまに祈りながら城壁を直していきました(4-5章)

工事はどんどん順調に進んでいきました。ところが、それをよく思わない人たちもいました。エルサレムの周りに移住していた人たちです。その中のサヌバラテやトビヤ達はイスラエル人が自分たちより強くなることを恐れて様々な妨害をしてきました。「そんなのキツネ一匹乗っても崩れちゃうぞ！」と悪口を言って民の心をくじこうとしました。「神さまどうぞお守りください」ネヘミヤは神さまに祈り続けました。敵が攻めてきた場合に備えて半分の人が工事をしている間、残りの半分の人は見張りをするように工夫もしました。ある者たちは片手に武器をもって片手で工事をする人もいました。ネヘミヤは「神さまがともにいてくれるから大丈夫だよ！」と言って常に人々を励ました。ユダヤ人の中からも疲れて「もう何とかして下さい」と泣き言をいう人々も出てきました。しかしネヘミヤは神さまに祈り知恵をいただいてその都度問題を解決することが出来ました。

## □ポイント3 神さまはネヘミヤを助けて城壁を再建させて下さいました(6章)

ある時サマリヤの役人たちは互いに悪いはかりごとをしてネヘミヤを殺そうと計画しました。しかしネヘミヤは祈りの中でその策略を見抜いていのちを守ることが出来ました。ネヘミヤはどんなことがあっても神さまに祈ることをやめなかったのです。自分には力はないけれど、神さまには力があると信じて頼り続けたのです。そして、あれほど妨害が激しかったにもかかわらずネヘミヤが城壁の再建を初めてなんと52日目には城壁が完成してしまったのです。みんな大喜びでした。工事を妨害した人々も神さまの力を認めざるを得ませんでした。

## □結論 神さまはへりくだって助けを求める者に応えてくださるお方です

## □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

ネヘミヤは異国の地で王様の献酌官としてとても高い地位にいた人でしたが、神さまを信じ、どんな時にもへりくだって神さまに助けを求めてお祈りする人でした。キミは自分の力でやろうとしてくるしくなっていないかな？神さまは「僕にはできないから、神さま助けて！」とへりくだって助けをを求めることを喜ばれる。そしてお祈りを必ず神さまは聞いてくださるんだ。神さまにお祈りしたいことはあるかな？